

講義名	ビジネス日本語 A/ビジネス日本語			授業形態	
担当教員	辻 周吾	開講期・曜日・時間	前期 月曜日 2 時限		
		単位数	2	履修開始年次	2 年生

主題と概要

毎回の授業で、まず、日常生活やビジネスの場で欠かせない敬語について指導します。その後、ビジネス場面におけるロールプレイを行います。授業の後半は、BJTビジネス日本語能力テストを実際に体験し、その解説を行います。

到達目標

敬語や適切な敬意を表す表現を使うことができるようになる。
限られたビジネス場面での日本語による適切なコミュニケーション能力を身につけられるようになる。
協働力・問題解決力・異文化理解力などを身につけられるようになる。

提出課題

ビジネス日本語、ビジネスコミュニケーションに関するテーマのレポートを課します。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

レポートについて、授業中にフィードバックします。

評価の基準

授業への参加度（75%）、中間レポート（10%）、期末レポート（15%）

履修にあたっての注意・助言他

- ・毎回、出欠をとります。
- ・1 日以上の遅刻は、欠席とみなします。
- ・授業には、辞書を持って来てください。

教科書

・使用しない。

参考図書

・マンガでわかる実用敬語初級編。	並刈優子	アルク	2200	4757416334
・初級から超級まで STEP式にほんご練習帳 敬語。	松本節子	株式会社コムコム	1430	97848968951
・BJTビジネス日本語能力テスト 公式 模擬テスト&ガイド。	公益財団法人 日本漢字能力検定協会（編集）	日本漢字能力検定協会	1870	978489096369

その他

授業中にプリントや資料を配布します。

授業計画

- 敬語の種類と働き/場面把握問題
予習内容：教材に目を通しておく（120分）
復習内容：授業内容を復習する（120分）
- 敬語（特別な形）/発音練習問題（1回目）
予習内容：教材に目を通しておく（120分）
復習内容：授業内容を復習する（120分）
- 敬語（お・ご、になる）/発音練習問題（2回目）
予習内容：教材に目を通しておく（120分）
復習内容：授業内容を復習する（120分）
- 敬語（～ら、れる）/総合理解問題（1回目）
予習内容：教材に目を通しておく（120分）
復習内容：授業内容を復習する（120分）
- 講演録（特別な形）/総合理解問題（2回目）
予習内容：教材に目を通しておく（120分）
復習内容：授業内容を復習する（120分）
- 講演録（お・ご、にする）/発音練習問題
予習内容：教材に目を通しておく（120分）
復習内容：授業内容を復習する（120分）
- 講演録（特別な形）/資料読解問題
予習内容：教材に目を通しておく（120分）
復習内容：授業内容を復習する（120分）
- 丁寧語（です、ます）/総合理解問題（1回目）
予習内容：教材に目を通しておく（120分）
復習内容：授業内容を復習する（120分）
- 美化語（お・ご）/総合理解問題（2回目）
予習内容：教材に目を通しておく（120分）
復習内容：授業内容を復習する（120分）
- 敬語の種類 練習問題（1回目）/総合理解問題（3回目）
予習内容：教材に目を通しておく（120分）
復習内容：授業内容を復習する（120分）
- 敬語の種類 練習問題（2回目）/読解・文法問題
予習内容：教材に目を通しておく（120分）
復習内容：授業内容を復習する（120分）
- 敬語の種類 練習問題（3回目）/表現読解問題
予習内容：教材に目を通しておく（120分）
復習内容：授業内容を復習する（120分）
- ロールプレイ（1回目）/総合理解問題（1回目）
予習内容：教材に目を通しておく（120分）
復習内容：授業内容を復習する（120分）
- ロールプレイ（2回目）/総合理解問題（2回目）
予習内容：教材に目を通しておく（120分）
復習内容：授業内容を復習する（120分）
- ロールプレイ（3回目）/総合理解問題（3回目）
予習内容：教材に目を通しておく（120分）
復習内容：授業内容を復習する（120分）

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	<input type="radio"/>	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/>	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	<input type="radio"/>	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	<input type="radio"/>	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

外国人留学生が、ビジネスの場で欠かせない敬語の基礎を身につけることで、日本企業における就職を見据え、ビジネスの現場においても物怖じすることなく、職場における上司や同僚ともしっかりとコミュニケーションができる。また、ビジネスにおける挨拶やメールのやり取りなどの場面にも、対応することができる。

留学生が、ビジネス日本語の習得に向けて、自ら進んで取り組むことができる。授業では、BJTビジネス日本語能力テストの模擬試験を体験する。BJTビジネス日本語能力テストなど、自ら目標を設定し、それを成し遂げることができる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考

授業において、ビジネス日本語に関する講義として、外部講師をお呼びする場合があります。